

少人数教育の充実に向けた取組

【南会津教育事務所】

学 校 名	下郷町立江川小学校
学年・教科等	全学年・全教科

南会津教育事務所学校教育課だより



南会津だからこそできる教育！
～江川小学校の取組～

○ 本事務所では、域内で特徴的な取組を「学校教育課だより『南会津夢教育』」として域内に発信しています。その中から、少人数の学級編制・学校経営による“南会津ならではの教育”“南会津だからこそできる教育”の取組について紹介します。

取組の内容及び成果

1 一人一人の子供を大切にした教育活動

江川小学校では「困った行動」や「気になる行動」を示す子供への対応を組織的に行っています。その際、3種類のシートを活用しています。

<シート1>学級で担任が支援するために活用するシート
子供の様子を記入。

<シート2>校内組織で支援するためのシート
校内でどのような支援ができるのかを記入。

<シート3>外部機関と連携するためのシート
校外での支援に期待することを記入。

この3種類のシートを用いて校内で話し合いをもち、共通理解を図り、その上で組織的に子供の支援に当たっています。

特別な支援を必要としている場合に限らず、どの学校にも気になる子供がいると思います。その子供への対応が、教職員一人一人がまちまちでは子供自身も困ってしまいます。そこで、学校全体での組織的なかわりがより重要になってきます。



2 親和的な学級集団づくり

学級は子供たちが学校生活を送る基盤となる重要な集団であり、この集団がどのような集団であるかは、学校の教育活動全体に関わってきます。学校全体で積極的に学級集団づくりに力を入れることが重要です。

その際、学力の面からのみ子供を見取るのではなく、様々な視点からその子供のもつよさ、能力などを見取る必要があります。道徳教育や特別活動の視点などからも、子供一人一人を見取り、かわり合わせることで、その子供のもつ新たな一面を発見することができます。

また、子供一人一人が集団に対し、どのような所属感をもっているのかを捉え、より望ましい所属感へ導くことも集団づくりの上で大切になります。

江川小学校では、道徳教育に力を入れ、子供一人一人の自己肯定感、人間関係の醸成に力を入れています。特に「朝の会」と「帰りの会」は忙しくても必ず行い、話し合う時間を確保するようにしています。

担任と子供の「たての関係」と同級生による「よこの関係」がしっかりと確立されていて、子供たちにとって居心地のいい学級集団となっています。



3 一貫性のある授業の推進

(1) 共通実践をととして

江川小学校では、授業においてどの学年でも共通した取組が行われています。その1つは **め** **ま** のカードを使った板書です。これは、「めあて」と「まとめ」を表すカードで、これを用い、「めあて」と「まとめ」の内容を提示しています。授業を行う際「めあて」と「まとめ」の整合性を図ることにより、授業に一貫性が生まれます。このことを学校全体で取り組んでいます。全学年、どの先生も行うことで、進級した際学級担任が変わったとしても子供たちは安心して授業に取り組むことができます。学習に集中することができ、成果も期待できます。



(2) 教師の聴く姿勢が子供の積極性に

1学級の子供の人数が多ければ、子供一人一人の発表の場を十分に確保することは難しい。しかし、少人数学級では発表の場を確保することはある程度容易であり、教師がしっかりと子供の発表を聴くことが可能です。

江川小学校ではどの学級でもこのことがしっかりと実践されています。子供たちは間違いを恐れず発表することができ、それが自信につながり、ひいては積極的に学ぶ姿勢に結びついています。また、授業中だけでなく、日常生活においてもしっかりと子供の話を聴く先生方の姿が見られました。この点でも、担任の先生をはじめ、全先生方と子供の「たての関係」、子供同士の「よこの関係」がしっかりとできあがっていることがわかります。

4 学習環境の整備

(1) 教師の意図が伝わる学級掲示

江川小学校ではどの教室でも、学級掲示が素晴らしい。特に、次の3点がバランス良く配置されていました。

- ①子供への連絡を目的とした掲示
- ②子供の活動の様子が見える作品等の掲示
- ③学習のヒントとなる掲示

文字だけでなく、絵や写真を用いて効果的な掲示がなされています。さらに、教師が作成した掲示と子供たちの手書きによる掲示がバランスよく配置されており、ここでも担任と子供の「たての関係」、子供同士の「よこの関係」もしっかりとできあがっていることがうかがえました。



(2) 学習集団としての座席の在り方

1学級の子供の数が多ければ、座席の工夫は難しい。しかし、少人数学級では様々な工夫ができます。

江川小学校では、一人一人の子供を見取ることができる配置を考えて、全ての学級がコの字型の座席になっています。そしてこれは固定されたものではなく、活動のねらいにあわせ、個人・ペア・グループと座席の配置を工夫しています。

江川小学校の大きな特徴は、

- ・ **「凡事徹底(ほんてつてい)」**
- ・ **「たてとよこの関係」** の2つを全教職員が強く意識し、行動していることです。

1つめの「凡事徹底」とは「なんでもないような当たり前のことを、徹底的に行う」という意味です。全教職員が同じ方向を向いて、精一杯子供たちのために教育活動を行っていることで成果を上げています。

2つめは、教職員と児童の温かい人間関係です。この「たてとよこの関係」を活かすことで、教育活動の効果的な推進につながっています。

域内の学校は小規模校が多いですが、固定化された人間関係をデメリットではなく、メリットとしてとらえていくことも重要だと思えます。すべての教育活動において、教職員と子供、子供同士の関係性を重視しながら教育活動を行っていききたいものです。